事業ポートフォリオと創出価値

デンソーでは、モビリティを中心とした領域において7つの事業を展開しています。それぞれの事業が相互に共鳴し、業界・パートナーと共に成長と総仕上をやり切ることで創出価値最大化に取り組んでいます。将来にわたり共感していただける新たな価値創造を実現するため、今後も時代に合った事業構造への変革を図っていきます。変化の激しい事業環境においても社会のニーズを捉えた製品・システムを提供し、持続的な成長を実現するための重点戦略として、事業ポートフォリオの入れ替えを進めています。

事業の構成

デンソーは、世界中のカーメーカから信頼される企業として、車載事業を中心に各種製品・システムを提供しています。電動化の鍵となるエレクトリフィケーションシステムをはじめ、あらゆるクルマのパワトレインを開発・製造するパワトレインシステム、グローバルシェアNo.1の車載用空調製品などを製造するサーマルシステム、高性能なセンサやレーダを搭載した先進安全機能で交通事故死亡者ゼロの実現を目指すモビリティエレクトロニクス、これからのモビリティ開発の要となる半導体などを提供する先進デバイスの5つで構成される車載関連事業は、電動化、先進安全／自動運転、コネクティッドなど、社会が求める新しいモビリティの発展を牽引しています。非車載事業では、車載事業で培った技術を活かし、FA／食農領域で事業展開を進めています。

全社戦略と事業戦略の関係性

2025年中期方針や環境・安心戦略の実現の鍵を握るのは、全社戦略と密接に連動した事業戦略です。各事業が全社視点、さらには産業全体の発展の視点で成長・総仕上戦略に基づく事業ポートフォリオの入れ替えを着実に実行し、環境・安心製品の開発・拡販をスピーディに行うことで、社会への提供価値を最大化します。さらに、全社を挙げて固定費の削減や人財シフト、対話を通じたエンゲージメント向上や品質・職場安全の向上などに取り組み、経営体質強化を実践しています。

各事業が持つ独自の強みや資本を活かし、全社戦略の実現に向けた中長期・短期シナリオを、最新の事業環境や戦略の進捗を踏まえて毎年更新し、会議体で審議・フォローアップしています。各事業が掲げる、全社2025年中期方針と連動した事業戦略およびその進捗や成果を、次ページ以降でご紹介します。

モビリティエレクトロニクス	28.2%
サーマルシステム	24.1%
パワトレインシステム	20.1%
エレクトリフィケーションシステム	18.9%
先進デバイス	5.4%
非車載事業	1.7%
その他	1.6%

トヨタグループ（トヨタ自動車、ダイハツ、日野自動車）	55.1%
ホンダ	6.5%
SUBARU	3.8%
ステランティス	3.2%
フォード	2.7%
スズキ	2.5%
その他メーカ	17.6%
市販・非車載事業	8.6%

2025年3月31日時点

DENSO Integrated Report 2025
事業別概況

貢献分野と主要製品

デンソーは、電装品やラジエータ製造を起点とした創業当初より、自動車部品を中心として、その技術を応用した生活・産業関連機器などへと、社会の変化とともに事業領域を広げてきました。現在は、モビリティ領域で社会に価値を生み出す様々なソリューション提供を中心に、自動車分野で培ってきた技術を駆使し、未来の社会を支える様々な事業に取り組んでいます。

事業の創出価値

7つの事業それぞれが、最先端技術によるイノベーションを通じ、2030年長期方針で掲げた環境・安心の価値を最大化する取り組みを行っています。また、磨き上げた技術をもって社会課題を解決し、新たな価値を生み出していきます。

	セグメント	売上収益(億円)	創出価値	環境・安心領域に貢献する主要製品 ● 環境 ● 安心
車載事業	**エレクトリフィケーションシステム** 電動車の駆動部品や、バッテリーを制御する電源システムなどを中心とした製品の開発・製造 P.76		多様化する移動ニーズに応える次世代モビリティの電動化を通じて、持続可能なカーボンニュートラル社会の実現と、安心・安全で利便性の高い移動の提供に貢献します。	● インバータ BEVやHEVのバッテリーとモータ間の電力を適切に制御 ● モータジェネレータ HEVの走行時の主動力とブレーキ時の発電機として燃費向上に寄与 ● ESU(Electricity Supply Unit) 充電制御やAC充電器、電圧制御などをワンユニット化 ● 電池ECU 電池を安全に精度よく制御し、燃費向上・航続距離延長に貢献
	パワトレインシステム ガソリン・ディーゼル車など、内燃機関自動車の燃焼、吸気、排気、動弁、始動系などを中心とした製品の開発・製造 P.77		地域・時間軸で残る内燃機関を必要とし続ける方々へ、安心・安全な製品を届け続けることは私たちの大事な責務です。将来にわたり、個々の会社が今の形で事業を継続するのみでは、いずれ各社はやせ細り、サービスの継続が難しくなる局面も起こりえます。そのような状況を回避し、内燃機関製品の長期安定供給と競争力維持、同時に成長領域での事業化加速に向けた貢献を両立していきます。	● ディーゼルコモンレールシステム・ガソリン直噴製品 最適な制御で燃料を噴射し、安定した燃焼を実現 ● 点火コイル・点火プラグ ガソリンエンジンに着火し効率的に燃焼させるシステム ● 排気系(排気センサほか) 酸素濃度の検知、吸排気バルブの開閉調整など ● スタータ・オルタネータ エンジンの始動、発電・充電をコントロール
	サーマルシステム 快適な車内空間を実現する空調製品、クルマの熱課題を解決する熱マネジメントシステムなどを中心とした製品の開発・製造 P.78		当社が世界で初めてクルマに搭載したヒートポンプをはじめとする独自の熱マネジメント技術で、大気の熱やクルマの廃熱を最大限活用して、クルマ利用時の快適性と省エネルギー化を両立し、クルマの価値向上に貢献します。さらに、リサイクル材活用や生産技術革新により、カーボンニュートラルなモノづくりを実現します。	● ● HVAC 世界最小で前方視野拡大、広々キャビン空間を実現 ● ● 熱マネジメントシステム 大気熱やクルマの廃熱を空調に利用し、航続距離を延長 ● インバータ冷却 独自の両面冷却でパワー半導体の高性能と小型化を実現 ● ● Everycool® トラックのエンジン停止時にも冷房でき、働く人の環境を改善
	モビリティエレクトロニクス すべての人の安心と快適な移動を実現する先進運転支援システム、クルマを電子制御する車載用ECUなどを中心とした製品の開発・製造 P.79		ADAS、HMI、インフラ連携のそれぞれの強みを融合した先進技術の開発による交通事故ゼロ社会の実現と、車両全体システムを最適に統合制御し、エネルギー効率化・省電力の実現によるカーボンニュートラルの達成を目指します。システム・製品に搭載するソフトウェアはクルマの知能化を加速し、持続的な進化でユーザーニーズの実現と社会課題の解決に貢献します。	● ADASシステム 画像センサとミリ波レーダなどで周囲を認識し、ドライバーの安全運転を支援 ● 統合HMIシステム 複数ドメインを集約するクロスドメイン制御により、情報をドライバーに提供 ● パワトレイン制御ECU ガソリン車、HEV、BEVのパワトレインを最適制御し、燃費・電費を向上 ● ● ソフトウェア 各種システム・ECU・センサに搭載し、制御の実行と車載品質・安全性を確保
	先進デバイス インバータや車載ECUに搭載される各種半導体や車載用センサなどを中心とした製品の開発・製造 P.80	 ※	当事業グループ内で半導体(脳)、センシング(目)に加え、アクチュエーション(手・足)のコア技術を融合し、環境・安心に貢献する新しいデバイスやシステムを柔軟な発想で創出することで、お客様の“あったら良いな”を実現する課題解決型の開発を可能にします。	● HEAT-PRO(BEV用熱マネジメント高効率バルブ) 電動車の冷却水を緻密に制御してエネルギー利用効率向上 ● 電流センサ 電池の電流を測定し電費改善などの車両性能向上に貢献 ● パワー半導体 インバータにおける大電流・高電圧のオン・オフ切り替えを担う ● ● ASIC(特定用途向け集積回路) 多岐にわたる車載の複雑な制御を一つの半導体に集約
非車載事業	**ファクトリーオートメーション** 標準化・デジタル技術を通じ、お客様のモノづくりが持続的に進化するソリューション P.81	 * 携帯電話販売・代理店事業の譲渡などにより前年度比減収	エンジニアリングチェーン全域での強みを活かした自動化構想・標準化／デジタル技術を通じて、品質向上・コスト低減・納期短縮を実現し、生産技術不足に起因するお客様の課題解決に貢献します。量産後もお客様とつながり続けることで、現場データやノウハウが標準化を加速し、お客様のモノづくりを持続的に進化させていきます。	● 自動化ラインお客様ニーズに寄り添った最適な自動化生産ライン ● 生産物流ソリューション 人・モノ・コトをつなぎ、納入から出荷までトータルで整流化 ● 産業用ロボット(多関節／人協働) 生産性と安全性を追求したロボット ● QRソリューションサービス QRコード®開発メーカとして社会のニーズに沿う新たな価値を創造
	フードバリューチェーン 食の生産・流通への工業化技術の導入により食の安心・安全を届けるソリューション P.82		環境制御・DX・自動化技術などを組み合わせた高効率な農業ハウスや全自動収穫ロボット「Artemy®」を通じた最適な栽培環境の構築と少人化で安心・安定した農業生産を実現します。さらにモバイル冷凍機やQRコード®を活用し食を生産地から消費者まで安心・安全に届け、世界的な社会課題である担い手減少や気候変動などによる食料不足への懸念を解決します。	● ● 大・中規模農業ハウス 生産者のニーズに合わせた農業ハウス ● ● 全自動収穫ロボット「Artemy®」 房取りミニトマトの収穫工程を全自動化 ● コールドチェーン(小型モバイル冷凍・冷蔵機) 温度管理された安心・安全な食の配送 ● ● QRトレーサビリティシステム 生産者から消費者までセキュアに情報を一元管理

※ デンソー内他事業向け内製半導体の売上収益相当分を除く